

北上市総合計画 2021～2030 令和6年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和5年度）

基本方針	8.環境にやさしい、安全・安心な暮らしの形成
基本施策	8-1.防災・減災対策と安全対策の強化
関連するプロジェクト	8.私から始める減災プロジェクト

安全な住環境を形成するため、日頃から市民・地域・行政の連携強化を図り、交通安全・防犯意識、地域防災力・防災意識を高めることにより、事故や事件を未然に防ぐとともに、災害時の被害を抑える安全・安心なまちづくりに取り組みます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

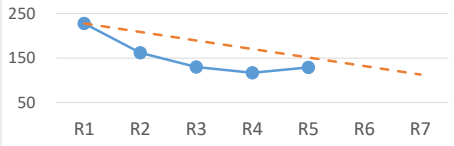
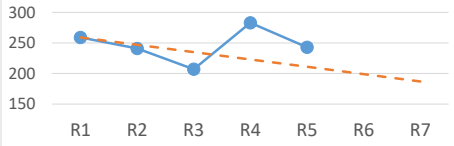
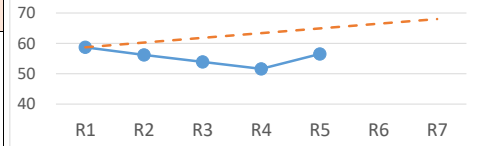
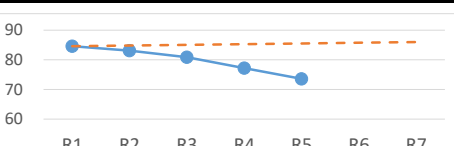
総合評価
B

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
17

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針		成果 指標	達成状況(対象:R5) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評 価	達 成 状 況 分 析 (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R6に着手予定・着手済み ◆:R7以降の着手を検討)
								内部要因	外部要因	
1	まち づくり部		交通安全 対策の推 進	あらゆる世代を対象とした交通安全教育を実施するとともに、運転に不安のある高齢ドライバーの運転免許証の自主返納を促進するなど、高齢者の事故防止対策を図る。また、信号機など交通安全施設の設置・改善について、積極的な取組を進めていく。	①	昨年に比して歩行者の交通事故(人身)が増加し、全体の発生件数では12件増加したものの、期待値は達成している。	B (A)	・幼児を対象とした交通安全教室を実施した。 ・薄暮時間帯の交通事故防止のためライト早め点灯広報活動を市内各地で実施した。	地域の交通安全団体による啓発活動によって、地区住民の交通安全意識が高まった。	◇高齢者の交通事故防止に向けた交通安全教室の開催 ◇交通安全関係団体と協力し、路上啓発広報活動の実施回数を増やす。
						関係部署と調整し、高齢者の事故防止対策として交通安全教室を実施した。		・高齢者交通事故防止等のため、交通安全シミュレーション機材を活用し、交通安全教室を実施した。	高齢者の交通安全意識が高まっている。	
2	まち づくり部		防犯対策 の推進	地域や関係団体と連携・協力して見守り活動等を実施し、犯罪の起こりにくい環境を整えるとともに、特殊詐欺の手口や犯罪の被害状況、被害防止対策等を周知し、防犯意識の高揚を図る。また、暴力団追放の気運を高めるため、イベントや広報活動を推進する。	②	刑法犯認知件数は、昨年に比べて減少した。	B (C)	防犯隊による定期的な巡回や少年センター少年補導員による年間計画に沿った補導活動が実施された。	・新型コロナウイルス禍での行動制限が緩和されたことが要因ではないかと考える。	◇特殊詐欺防止高齢者訪問事業の実施 ◇北上市安全・安心まちづくり大会の開催
						①特殊詐欺被害発生件数は、昨年に比べて減少した。(6件→3件) ②暴力団追放について、広報活動を実施した。		・北上市防犯協会員が、市内高齢者世帯4,761戸において特殊詐欺被害防止訪問活動を実施した。 ・広報紙「暴追いわて」を交流センター及び市民会議(暴力団追放部会)への配布を実施した。		
3	福祉 部	●	災害時における避難支援体制の整備	個別避難支援計画を活用するなど地域の自主防災組織や民生委員等が連携を図り、避難支援体制を整える。 福祉避難所について、介護保険施設等との協定締結を進める。	③	・個別プランの新規作成や更新にあたり、地域支援者について周知を行い、避難行動要支援者近隣住民の地域支援者についての理解等の浸透に努めた。 ・令和5年度においては洪水・土砂災害危険区域内に居住する避難行動要支援者の個別プラン作成又は更新を重点に取り組みを行った。 ・避難行動要支援者同意者のうち地域支援者が決まっている人の割合は、上昇したものの、期待値を下回った。	B (C)	今回の個別プランの更新が地域ぐるみの避難支援体制を考える機会となり、地域支援者が決まっている人の割合の上昇に繋がった。	・避難行動要支援者本人が、地域支援者を探して、承諾を得るには限界がある。 ・避難行動要支援者近隣住民の地域支援者についての理解等を図る取り組みが必要である。	◇今後も機会を捉えて要支援者本人や避難支援関係者等に理解を深めてもらうよう取り組みを行う。 ◇未協定の介護事業所や障がい者施設に対して、福祉避難所への協力依頼及び福祉避難所再生可能エネルギー補助金を周知し、協定締結を促進する。 ◆避難行動要支援者本人が地域支援者を探すことには限界があることから、自主防災組織等の組織による支援や、スマホアプリ等を活用した支援体制を検討する。
						福祉避難所について、箇所数の増減はなかった。			・介護事業所等は、災害時の人員配置の不安により、協定福祉避難所の指定に消極的である。 ・物価高騰等により介護事業所等が、太陽光発電等の設備投資に消極的である。	
4	企画 部	●	防災力の 強化	防災訓練を実施し、その経験を共有しながら、市民や地域、事業者等がお互いに連携・協力して災害に対する備えや災害発生時に災害活動が行える体制を構築するとともに、独自の自主防災マスター制度により各地域の自主防災リーダーを育成し、地域防災力の向上を図る。 近年の激甚化する災害対応のため、防災計画、備蓄計画等の随時見直しを進め、避難者の受入体制強化を図る。	④⑥	・自主防災組織の防災訓練実施率は、前回(令和2年度)よりも13.1ポイント下がった。 ・市民意識調査「災害時の避難経路を知っている割合」は、前回(令和4年度)よりも3.4ポイント下がった。	B (B)	指標⑥について、ハザードマップを更新した令和2年度、新しい避難情報の運用が開始された令和3年度に比べて、防災に関する情報発信の活動が減ってきている。	・指標④について、自主防災組織対象のアンケートの調査結果では、「活動が役員任せになっている。」という回答が多数あったことから、役員交代に伴い訓練や勉強会の企画運営のノウハウが、組織内で引き継がれていないことが考えられる。 ・指標④及び⑥について、市内で大きな災害が無いため、自助、共助の意識が低下してきていることが考えられる。	◇北上市総合防災訓練の実施 ◇自主防災組織研修会の開催 ◇自主防災マスター認定者向け講習及び新規認定講習 ◇地域防災計画の修正 ◇ハザードマップの更新 ◆ハザードマップの見方や活用方法など再周知ほか積極的な情報発信
						・子育て世代を対象とした防災イベント(おやかで防災)を初開催し、約50組の親子の参加があった。 ・市総合防災訓練を実施し、来場者を含め約400人の参加者があった。 ・毎年1回開催している、市自主防災組織研修会では、「要配慮者の支援」をテーマに、個別避難計画に関する講義等を行い、59人(47組織)の参加があった。		・「おやかで防災」は、他部課と協働しながら、子育て世代を対象とした市として初めて取組みとなった。 ・市自主防災組織研修会は、福祉の観点での共助の取組みを考える機会とし、福祉部署と連携し取り組んだ。	・市総合防災訓練は、市内の他の催事と日程が重なり、昨年度に比べて参加者が減った。	
5	企画 部	●	消防団の 強化	消防団員向けの各種支援策や地域の協力を得ながら地域防災の活動主体となる消防団員数の維持を図るとともに、消防演習や災害防御訓練等の訓練により災害対応力の向上を図る。	⑤	前年度に比べて消防団員の確保率が3.6ポイント減少した。	B (B)	・消防団員の確保に向けて、周知(チラシ作成、ポスター掲示等)や団員へ協力を依頼したが、効果が不十分だった。	・消防団員の高齢化により、退団者が増加した。 ・就業構造の変化や人口減少により、消防団員の担い手が不足している。	◇消防団員の負担軽減策(行事の見直し等)の検討 ◇消防団員の処遇改善策(運営費の支給等)の検討 ◇訓練等を定期的に実施し、災害対応力を強化 ◇DXの推進
						・消防演習、総合水防演習、総合防災訓練、春季災害防御訓練等の実施により、消防団の災害対応力の向上を図った。 ・北上市消防操法競技会を開催し、消防技術の活動の基礎を身につけた。 ・北上市消防団協力事業所として登録されている17事業所の認定を更新した。 ・消防団応援の店として1事業所を新規登録した。		・年間計画に基づき訓練を実施し、消防力の強化を図った。		
6	企画 部		消防力の 維持・強化	計画的な消防車両の更新、建物の維持管理により、消防・救急体制の維持・強化を図るとともに、救急救命講習等を普及させることにより救急車が到着するまでの間の応急手当能力の向上を図る。 また、消防団車両、消防屯所の計画的な更新を行うとともに、消防水利の維持管理に取り組み消防力の維持を図る。	⑤⑦	・前年度に比べて救急救命講習の受講者数は844名増加したが期待値は下回った。	B (B)		新型コロナウイルス感染症対策のための制約が無くなったが回復まで時間がかかっている。	◇消防団車両、消防屯所の計画的な更新 ◇消防水利の維持管理
						・ホースポール1箇所を整備したほか、2台の消防団車両を更新した。 ・関係部署と調整し、消防水利の計画的な施設整備(消火栓5基)を図った。		消防力維持のため、計画的に消防団車両や消防水利の必要な修繕や更新を行った。		

凡例 ●実績値 —期待値

指 標 ①		指標の説明															
交通事故(人身)発生件数	各年1～12月における交通事故(人身事故に限る)の発生件数		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
まちづくり部	件	実績値	228	162	130	117	129										
		期待値 ※R7は目標値	228	209	190	171	151	132	113								
		備 考															
指 標 ②		指標の説明															
刑法犯認知件数	各年1～12月における刑法犯認知件数		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
まちづくり部	件	実績値	259	241	207	283	243										
		期待値 ※R7は目標値	259	247	235	223	211	199	187								
		備 考															
指 標 ③		指標の説明															
避難行動要支援者同意者のうち地域支援者が決まっている人の割合	年度末の避難行動要支援者同意者のうち地域支援者(協力者)が決まっている人の割合		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
福祉部	%	実績値	58.7	56.2	53.9	51.6	56.5										
		期待値 ※R7は目標値	58.7	60.3	61.8	63.4	64.9	66.5	68								
		備 考															
指 標 ④		指標の説明															
自主防災組織の防災訓練実施率	防災訓練や防災学習(ハザードマップの見方)等を実施している自主防災組織数／全自主防災組織数		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
企画部	%	実績値	60.2	61.8		48.7											
		期待値 ※R7は目標値	60.2	61.8	63.5	65.1	66.7	68.4	70								
		備 考			未実施	R5調査実施	今後調査予定										
指 標 ⑤		指標の説明															
消防団員の確保率(団員数／条例定数)	条例定数に対する在籍消防団員数の割合(当該年度末時点)		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
企画部	%	実績値	84.6	83.1	80.9	77.2	73.6										
		期待値 ※R7は目標値	84.6	84.8	85.1	85.3	85.5	85.8	86.0								
		備 考															
指 標 ⑥		指標の説明															
災害時の避難経路を知っている割合(市民意識調査)	市民意識調査で知っていると回答した人数／市民意識調査の回答者数		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
企画部	%	実績値	46.0	49.7		51.5	47.7										
		期待値 ※R7は目標値	46.0	51.7	57.3	63.0	68.7	74.3	80.0								
		備 考			未実施												
指 標 ⑦		指標の説明															
救急救命講習受講者数	消防組合が開催する救急救命講習の受講者数		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
企画部	人	実績値	4,127	2,521	2,786	2,123	2,967										
		期待値 ※R7は目標値	4,127	4,189	4,251	4,314	4,376	4,438	4,500								
		備 考															
指 標 ⑧		指標の説明															
			R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
		実績値															
		期待値 ※R7は目標値															
		備 考															
指 標 ⑨		指標の説明															
			R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
		実績値															
		期待値 ※R7は目標値															
		備 考															
指 標 ⑩		指標の説明															
			R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
		実績値															
		期待値 ※R7は目標値															
		備 考															
指 標 ⑪		指標の説明															
			R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
		実績値															
		期待値 ※R7は目標値															
		備 考															
指 標 ⑫		指標の説明															
			R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
		実績値															
		期待値 ※R7は目標値															
		備 考															
指 標 ⑬		指標の説明															
			R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
		実績値															
		期待値 ※R7は目標値															
		備 考															
指 標 ⑭		指標の説明															
			R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
		実績値															
		期待値 ※R7は目標値															
		備 考															
指 標 ⑮		指標の説明															
			R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7								
担当部等	単位																
		実績値															
		期待値 ※R7は目標値															
		備 考															